

情報誌

令和5年度 第2号



地域の皆様、こんにちは。やざき乳児保育園です。日頃より、本園にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。今年一年間、職員全員で一人一人の子どもの成長を見守り、保護者の皆様、地域の皆様に信頼されるよう努めてまいりました。その中から、各クラスの子どもの様子や園の取り組みについて紹介いたしますので、ご覧ください。今後も、地域に根ざした子育て支援の拠点になるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



新年が明け、こま回しやかるたなどお正月遊びを楽しんでいます。

ぶどう組 (1.2歳児)

こま回しでは、始めは「あれ？」と言いながら何度も挑戦していましたが、今では指の使い方のコツを掴んで友達と一緒にこまを回して遊ぶ姿が見られます。今年は辰年。絵具を使って感触遊びをしながら辰の制作をしました。目のシールを自分で貼って福笑い。表情豊かなかわいい辰が出来ました。



クレヨンを使って、自分のこまを可愛く仕上げました。

「まわった!」

いちご組 (0歳児)

最初は遊び方が分からなかった子ども達も、保育者が回している様子を見て、自分なりに回そうと挑戦する姿が見られました。何度か挑戦するうちに自分で回せるようになると、パチパチと拍手をして嬉しさいっぱいです。また、凧揚げは、歩行が安定してきた子は凧を自分で持って走ったり、小さな子達も凧に触れたりゆらゆらと揺れている様子を見たりして思い思いに楽しんでいます。

こま回し



小さい子もこまが回る様子を見て、笑ったり体を揺らしたりしています。



凧揚げ

楽しそうに保育者の後を走ったり、手に持っている凧を見たりしています。

いえーい!

ホットケーキを作ったよ!

普段から“しろくまちゃんのほっとけーき”の絵本を読んでいる子ども達。12月の食育の日にぶどう組2歳児のお友達がホットケーキを作ってみることにしました。調理員がボウルに卵を割り入れ、泡だて器が登場すると「やるー!」とやる気満々の様子でした。卵をほぐした後に粉と牛乳を入れて混ぜていくと「色がかわったね〜」と生地の変化に驚いていました。だんだんと生地が重くなり力がいらしましたが、両手で一生懸命に混ぜる姿がありました。その後、ホットプレートに生地を順番に入れ、焼きました。生地がぷつぷつとなってくると「そーれ!」の掛け声でひっくり返しました。「大きいのが食べたい」「まだかな〜」と焼けるのを楽しみに待っていました。焼けると少しずつわけてもらいます味見。その後お部屋に配りに行き、まるでレストランのようでした。「またやりたい!」「混ぜるのが楽しかった!」と次のクッキングにも意欲満々。次回はクッキーを作ることにしました。自分で作ったホットケーキをお友達にも「おいしい」と食べてもらって、満足そうな様子でした。



おいしくな〜れ!

かたつむりさん、ザリガニさん大好き

子ども達と一緒にかたつむりやザリガニを飼育しています。保育者と一緒に餌をあげたり飼育ケースをきれいにしたりしてお世話をしています。餌をあげる時は、恐る恐るあげる子や興味津々に覗きながら入れる子もいました。また、ザリガニが餌を食べているとザリガニがどうやって食事をするかとても気になってじっと見えています。子ども達は、生き物の飼育や野菜の栽培を通して、子ども達が様々な発見をしながら命の大切さに気づき、思いやりの気持ちを育めるようになってもらいたいと思っています。



かたつむり

ザリガニ

「どーぞ!」

災害時に備えて避難訓練をしています

令和6年1月1日(月)に能登半島地震が発生し、小松市でも今まで体感したことがないような震度5強の強い揺れがあり、地震の怖さを体験しました。今回の地震の体験をもとに、もしも、保育中にこのような大地震が発生した場合、園児の安全を確保するためにどのような対応をするべきか職員間で話し合いました。職員一人一人が落ち着いて状況を判断し、声を掛け合いながら園児の命を守ることが私たちの使命であると再確認しました。また、昨年10月に震度5弱の地震発生した想定のもと、園児引き渡し訓練を実施し、順次保護者の方にお子様を引き渡すことができました。次年度からも、災害時にお預かりしているお子様を保護者の方に安全・確実に引き渡しができるよう引き渡し訓練を行っていきます。今後も、様々な災害を想定した避難訓練を行い、災害に備えて適切な対応が行えるよう努めていきたいと思っています。

日頃の避難訓練で身についたこと(ぶどう組2歳児)

能登半島地震を体験することで、小さいながらも地震の話題が子ども達の間でもあがりました。保護者の方からは地震が起きた時「ダンゴムシポーズをしていました。」「机の下に隠れていました。」など、日頃の避難訓練での行動を実際に出来たことを聞いて「すごいな」と驚きました。実際に地震が起こるということは怖いことなのですが、ぶどう組では保育者が「地震だ!」と叫んで、ダンゴムシポーズになる地震ごっこ遊びが今回の能登半島地震で活かされ、自分の身を守る為の行動が避難訓練を通して習慣化されていると感じました。まだまだ余震が時折起こっていますが子ども達が安心して過ごすように関わりながら過ごしていきたいと思っています。

